

平成31年度版 多忙化改善計画

会議等の効率化を図っていく
①ペーパーレス会議と提案方法の更なる改善を目指す。 ・準備時間、紙の大幅削減など有効な手段になっており、今後も継続する予定である。 ・共有ドライブを活用し、データの整理や効率化、保守を確立していく。 ②データの保管方法等、誰が見ても見やすく、分かりやすい方法を考えていく。
学校行事による加重負担を軽減していく
①担当職員による行事の見直しを行い、精選や他行事との統合を検討する。 ②開かれた学校づくりを視野に入れ、地域行事、PTA行事等、これまでの内容を見直していく。
校内組織の見直しを図っていく
①学校掲示板を活用し、日常的な連絡や緊急連絡などを迅速に行い、教職員への連絡事項の周知徹底を行っていく。 ②PDCAサイクルによる組織の見直しと確立を図っていく。
業務の効率化を目指す
①きずなの日の目的、活動内容の周知と推進を図る。 ②ICT活用による効率化と改善策を検討・実施していく。
部活動の負担軽減を目指す。
①週1日、原則土日どちらかを休みとし、複数顧問による交代制での休日部活動を実践する。 ②外部指導者の開拓を進め、教員の放課後帯の生徒とのふれあいや事務処理の時間を確保していく。
地域人材の活用
①教科、特別活動、部活動また、朝夕の交通立番指導での人材活用や活用内容を探りながら、より良い方法の実現を目指す。 ・地域の人材活用を進めるため、PTAや各育成会議等でも必要に応じて相談したりお願いをする。 ②警察や安協等、公的な人材で交通立番への協力が可能か依頼する。
下校時の立番指導の見直し
①同一箇所に複数立つなどの状況があるため、その無駄をなくす。 ②外部協力をいただけるよう、PTA、自治会等の関係機関へ現状を伝え、より良い方法を考えていく。